

競技要綱

(1) 競技種目

ボディを使用し、中振袖によるフォーマル(成人式等)な装い(流儀は自由・花嫁のお色直しではない)の技術を競う

(2) 作品の傾向

和装技術を主とした着装美の創造性を、トータルビューティな視点から調和させ完成する。

(3) 審査ポイント

トータルビューティな視点からの創造性・技術性・調和美を対象とする。

(4) 競技時間 補正・長襦袢着付け ……20分(監視員立会いの下、控室にて行う)

振袖着付け・帯結び ……15分(競技会場にて行う)

競技方法

1 監視員の指示の下、控室にて補正から長襦袢までの着付けを20分間で行う。

2 長襦袢までの着付け終了後、着物を羽織らせ衿止めをする。

3 着物の裾を上げて合わせ、腰紐を仮に締める。(移動のため)

4 競技位置で腰紐を取り、裾を下ろして準備する。

5 競技会場にて着付けと帯結びを15分間で行う。

(5) 競技規定及び禁止事項 ※違反者は、減点もしくは失格となります

1 選手の服装は白の上衣、黒のスラックスに黒又は白のソックスか、肌色のストッキングを着用。(素足不可)

靴は脱ぎ履きしやすいものに限る。(ピンヒール・サンダル・ブーツ・スニーカー 不可)

2 ボディは和装用ボディを使用。自身のボディの使用も可。

3 使用する衣裳、下着、小物類一式は各自持参のこと。

4 使用する小物類等は自由とする。但し、技術を必要としない完成品の使用は認めない。

5 選手同士での用具の貸し借りはしないこと。また、用具等の忘れ物があっても大会本部から貸し出しは一切しない。

6 極端に完成されたボディ補正用具の使用は不可。

7 帯に形付けをしたり、帯や着物に印を書いたり糸印を付けておくことは一切認めない。

8 助手の同伴は一切認められない。

9 着付けの仕上げの修正に、ヘラ等の特殊な用具を用いることは認めない。

10 袖の振りを押さえるクリップの使用は不可。

(6) 当日の注意事項

1 当日の行動は、監視員の指示に従うこと。

2 競技中、選手同士又は観客と会話等してはならない。

3 競技中、他の選手に迷惑をかける言動をしたり、監視員の指示に従わない場合は、退場を命じることがある。

4 競技終了後、選手は作品に一切触れてはならない。

5 競技終了後、選手は直ちに用具その他のものを持って退場すること。

6 表彰式の際、受賞者は指定された場所へ移動すること。

7 入賞者は記念撮影をするので表彰式終了後ボディを持って速やかに指定の撮影会場へ移動する。

※貴重品の紛失・盗難につきましては、主催者側では責任を負いかねますので、各自充分にご注意下さい。

(7) 審査事項

大会運営規則に基づき委嘱された審査員が、同規則に定められた「職務要綱」に基づき、審査業務を行う。

(8) 監視事項

大会運営規則に基づき委嘱された監視員が、同規則に定められた「職務要綱」に基づき、監視業務を行う。

(9) 採点精算

大会運営規則に定められた「職務要綱」に記載する。

(10) 順位決定

順位の決定は審査員の採点の合計点に基づき、実施する。

(11) 表彰

入賞者の数については、出場選手の数に応じて大会実行委員長が決定する。

(12) コロナ感染防止についての注意事項

別紙参照